

科目名	English IV			担当教員	北岡 一弘		
学 年	4 年	学 期	通年	科目番号	08114	単位数	3
分 野	一般	授業形式	講義・演習	履修条件	必履修		
学習目標	① _r 文法の知識を定着させる。高学年にふさわしい語彙力を身につける。 ② _r 英語多読用図書を自力で正確に読める。大量に英語を経験することにより、英文の構造やコロン、会話表現等に慣れ親しむ。						
進め方	①英文法と②多読・熟読を組み合わせた授業を行う。①では、テキストやプリント教材を用いて英文法を総復習し、英文法の知識を定着させる。②では、各々のレベルに応じた英語多読用図書を、各自辞書を使って多読・熟読し、要約・感想等、英語で読書記録をつける。また、TOEIC 対策等の演習も行なう。学習内容の定着をはかるため定期的に小テストを行う。						
学習内容	学習項目（時間数）			合格判定水準			
	1. テキストUnit 1 ～ Unit 4 プリント補助教材（14） 2. レベル0～3（～1000 Headwords）の多読教材を用い、目安として5000語～2万語を読む。（8） ----- [前期中間試験]（2）			1. 基本的な文法事項を理解でき、それを使った文が書ける。 2. 本の内容、ストーリー展開を正確につかんで読むことができ、英文で要約・感想等表現できる。			
	3. テキストUnit 5 ～ Unit 8 プリント補助教材（14） 4. レベル0～3（～1000 Headwords）の多読教材を用い、目安として累計1万～3万語を読む。（7） ----- 前期末試験			3. 基本的な文法事項を理解でき、それを使った文が書ける。 4. 本の内容、ストーリー展開を正確につかんで読むことができ、英文で要約・感想等表現できる。			
	5. テキストUnit 9 ～ Unit 12 TOEIC対策等プリント補助教材（14） 6. レベル0～3（～1000 Headwords）の多読教材を用い、目安として累計1万5000～5万語を読む。（7） ----- [後期中間試験]（2）			5. 基本的な文法事項を理解でき、それを使った文が書ける。 6. 本の内容、ストーリー展開を正確につかんで読むことができ、英文で要約・感想等表現できる。年度始めよりもレベルの高い本が読めるようになっている。あるいは、同レベルの本がより速く読めるようになっている。			
	7. テキストUnit 13 ～ Unit 15 プリント補助教材（14） 8. レベル0～3（～1000 Headwords）の多読教材を用い、目安として累計2万～7万語を読む。（8） ----- 後期末試験			7. 基本的な文法事項を理解でき、それを使った文が書ける。 8. 本の内容、ストーリー展開を正確につかんで読むことができ、英文で要約・感想等表現できる。年度始めよりもレベルの高い本が読めるようになっている。あるいは、同レベルの本がより速く読めるようになっている。 9. 校内 TOEIC で 350 点程度得点できる。			
評価方法	評価の内訳は、授業時の取り組み姿勢（読書記録、小テスト、TOEIC 模擬試験を含む）が 30%、定期試験 70%とする。授業に対する取り組み方が悪い場合は減点することがある。学習項目ごとの全体評価への重みは定期試験までのそれぞれの期を 25%ずつとする。						
学習・教育目標との関係	建設工学コースの学習・教育目標（D-3）基礎的な英語力に該当する必修得科目である。						
関連科目	1～3年までの英語科目 → English IV（4年）→ English V（5年）						
教材	Reading Fusion 1（南雲堂）、Tune up for Practice for the TOEIC Test Listening（成美堂）、多読教材、プリント教材。						
備考	毎時間かならず辞書を持参すること。						